

平成25年第2回定例教育委員会

平成25年2月27日(水)午後2時

江別市教育庁舎 大会議室

出席者	委員長 委員 委員 委員 教育長	長谷川 清 明 相 馬 範 子 上 野 聡 志 郷 早 見 月 田 健 二	説明員	教育部長 佐 藤 哲 司 教育部次長 後 藤 好 人 学校教育支援室長 総務課長 苅 谷 正 彦 総務課参事 木 村 藤 義 学校教育課長 三 富 一 信 学校教育支援室参事 伊 藤 忠 信 給食センター長 西 田 昌 平 生涯学習課長 園 部 真 幸 生涯学習課主幹 福 井 洋 情報図書館長 小 林 則 幸 郷土資料館長 永 嶋 満 総務課総務係長 大 村 勇 二 近 藤 俊 彦 澄 人
			記録員	なし
			傍聴者	なし

1 報告事項

- (1) (仮称)江別市学校教育基本計画策定懇話会の設置について
- (2) 平成24年度江別市青少年文化賞・スポーツ賞及び教育委員会表彰について
- (3) 第7期江別市社会教育総合計画の点検・評価結果について
- (4) 第4期江別市スポーツ振興計画の点検・評価結果について
- (5) 平成25年度財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画について

2 審議事項

平成25年議案第7号

平成23年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

3 その他

○各課所管事項について

- (1) 江別市少年育成委員の補欠委員の委嘱について

○次回教育委員会予定案件について

会 議 録

<p>長谷川委員長</p> <p>伊藤学校教育課長</p>	<p>(開会)</p> <p>それでは、ただいまから平成25年第2回定例教育委員会を開会いたします。本日の議事日程は配付のとおりであります。会議に先立ち、本日の会議録署名人を郷委員さんをお願いいたします。それでは議事に入ります。</p> <p>1の報告事項(1)(仮称)江別市学校教育基本計画策定懇話会の設置についての報告を求めます。伊藤学校教育課長お願いします。</p> <p>報告事項(1)(仮称)江別市学校教育基本計画策定懇話会の設置についてご説明申し上げます。</p> <p>資料をご覧ください。江別市学校教育基本計画策定に関しては、平成24年11月21日に開催されました平成24年第11回定例教育委員会におきまして、策定趣旨やスケジュール等についてご報告しているところであります。その中で、学校関係者や学識経験者、公募市民により構成する(仮称)江別市学校教育基本計画策定懇話会を設置し、施策・事業等の具体的な取り組みについて意見交換等を行っていくと報告しております。</p> <p>本日の報告につきましては、策定懇話会の設置に当たり、同懇話会の設置要綱を制定いたしましたので報告するものであります。</p> <p>設置要綱の主な内容を説明いたします。第2条をご覧ください。懇話会の所掌事務についてであります。計画策定に当たっての施策・事業等の具体的な取り組みについての意見交換等を行うものでございます。</p> <p>次に、第3条をご覧ください。委員の構成であります。公募の市民2名、学識経験者及び学校関係者5名で構成するものであります。</p> <p>第4条をご覧ください。懇話会の構成員の任期は、委嘱の日から平成26年3月31日までとしています。予定では、その間に4回程度の懇話会の実施を予定しております。</p> <p>今後の予定ですが、公募の市民につきましては、3月の広報、市のホームページなどで公募の周知を行います。応募は3月中旬に締切りとする予定であります。応募に際しては作文の提出を求め、その内容等によって選考する予定であります。学識経験者及び学校関係者につきましては、市教委から関係団体等に推薦依頼するなどして選考していきたいと考えております。なお、懇話会のメンバーが決まりましたら、後日ご報告する予定であります。以上で説明を終わります。</p>
<p>長谷川委員長</p> <p>相馬委員</p> <p>伊藤学校教育課長</p> <p>相馬委員</p> <p>伊藤学校教育課長</p> <p>相馬委員</p>	<p>ただいま報告のありました(仮称)江別市学校教育基本計画策定懇話会の設置について、質問等がございましたらお願いします。</p> <p>懇話会は、江別市学校教育基本計画の策定のための懇話会ですか。</p> <p>今、私どもの教育委員会の中の課長職・次長職で庁内検討会議を行い、素案を作っています。その素案が固まった段階で、懇話会にお示しして素案に対する意見をもらうというものでございます。</p> <p>江別市学校教育基本計画っていうものは、江別市教育委員会で初めて作るものですか。学校教育に関しましてのこういった計画は、初めてです。</p>
<p>月田教育長</p> <p>相馬委員</p> <p>佐藤教育部長</p>	<p>私も長い間、教育委員をやっていて気が付かなかったんですが、これは当たり前なことなんですね。</p> <p>教育基本法が変わりまして、これを作らなければならないという努力義務が課せられました。</p> <p>今まで、江別市では教育の理念などを語っていませんでしたよね。学校教育基本計画がなかったということはそういうことではないんですか。</p> <p>江別市において、今まで教育に関する基本的な方向性なり計画なりがなかったという理解ではございません。基本的な目標を掲げてきましたし、毎年、先般お諮りした教育行政推進計画という形で、相当詳しく教育行政全般についてはお示しをしております。</p> <p>ただし、教育基本法の改正に伴いまして、国は教育振興基本計画を定めておりますし、北海道におきましても定めておりますし、さらには石狩教育局という振興局単位でも定めておまして、さらに市においても定めるということになっております。特に、学校教育は多重構造になっていると我々は受け止めていて、今までなかったということではありま</p>

佐藤教育部長	せん。ただし、第7期社会教育総合計画の見直し、それから第4期江別市スポーツ振興計画を見直すわけです。そうすると、国の教育の計画というのは学校教育だけではなくて全般を示していますから、この総合計画の次期計画の策定に合わせて、この際学校教育についても揃える。そうすると、大きく三点セットで、国が求めているところの教育に関する基本的な計画を定めることになるだろうという考え方で、今回取り組むということでございます。
相馬委員	引っ張ってしまって申し訳ありませんが、社会教育とかスポーツ振興は今まできちんとされてきましたよね。長い間、教育委員をやっていましたが、教育行政推進計画はあったけれども、江別市の教育の基本計画という形はなくて、他の市町村や道とかはあったと思いましてね。きちんとした計画とかビジョンを打ち出すということは必要なことなので、これを見てそうだと思ったんですね。
佐藤教育部長	特に、教育の中で学校教育を取り上げて考えたときに、例えば、教職員の身分が都道府県に置かれていることや、全体的な調整が国と都道府県側にウエイトが置かれているということが実態だと私は思うんです。 市町村においても求めるとしてきた教育三法改正の大きな流れの中での打ち出しだったので、正直言うと出遅れは否めないんですけども、国と道が今、第2期の計画に着手しようとしているので、江別市の総合計画のタイミングと合わせて、計画を策定しようということでございます。
相馬委員	これで最後にしますが、結局文科省の考えが変わるんですよね。例えば、去年民主党政権のとき、調査の山で結構大変だったような気がします。今度、新しい安倍政権になると、また文科省の意向が変わるんですよ。そうすると、江別だけがこういう計画をやっていないのではと意地悪な言い方をしているんですが、文科省の考えがころころ変わるというのは困ってしまうんですよね。
佐藤教育部長	補足をさせていただきますが、平成24年度、つまり今年度の教育行政推進計画、また平成25年度、来年度に向けた教育行政推進計画も、国が今見直そうとしていると言いますか、第2期に向けた振興計画の考え方を既に取り込んだ中で、江別市教育委員会としては議会に提出してきているという状態です。政権によって文科省が大きく変わっているという認識ではなく、中央教育審議会等々、別の審議会組織も踏まえながら進めてきておりますので、必ずしも政権によって学校教育が揺れ動いているというイメージは持っていないのです。
相馬委員	私どもは、元々一昨年の段階から示されてきたものを先取りして、取り込んできているという認識であります。
郷委員	ちょっとそこは私と佐藤部長の意見が違ってすみません。これで終わります。私は、政権によって違うという思いがあるんですね。そこが部長とちょっと違うんですけども、私の意見です。
相馬委員 上野委員	学校教育是、教育基本法という法律が基になっているという解釈をしていたので、その法律を基にするとすると、そんなに極端に政権は関係ないという認識です。 それは、郷さんの意見でいいんじゃないですか。 ころころ変わったかどうかはそんなに感じなかったんですが、先ほど言った調べ物というのは、事件を起こすから調べ物をしなさいというようになってくるので、それは政権が変わったということではなく、そういう事件が起きたから調査しなさいということです。
相馬委員 長谷川委員長	今後の動向を見ていたら分かりますよね。 それでは、本報告については終了してよろしいでしょうか。 (一同了承)
小林生涯学習課長	次に、報告事項(2)平成24年度江別市青少年文化賞・スポーツ賞及び教育委員会表彰についての報告を求めます。小林生涯学習課長お願いします。 平成24年度青少年文化賞・青少年スポーツ賞及び教育委員会表彰に係る被表彰者の決定についてご報告申し上げます。 今年度の表彰に関する事績の対象期間は、平成24年1月1日から12月31日の1年間としております。ただし、通算成績による場合は3年前までとしております。 昨年の12月から今年1月20日までの推薦受付期間を設け、広報えべつ等での掲載周知はもとより、各種団体、小中学校、高等学校、大学、短大等々に推薦依頼を行い、推薦のあった候補者の事績内容等の確認作業の後、青少年文化賞及び青少年スポーツ賞について

小林生涯学習課長	<p>ては、全国規模の大会等で3位以内に相当する成績を収めた候補者及び通算2年以上入賞した候補者について、庁議において意見を伺った上で2月4日付け市長決裁により受賞者を決定しております。</p> <p>また、同文化奨励賞、同スポーツ奨励賞については、全道規模の大会等で優勝、または相当の成績を収めた候補者について、別途市長決裁により受賞者を決定しております。</p> <p>さらに、教育委員会表彰の文化部門、スポーツ部門の各賞については、全道規模の大会等で2位、3位、または相当の成績を収めた候補者について、教育長決裁により受賞者を決定しております。</p> <p>今回の受賞者につきましては、資料をご覧いただきたいと思いますが、1ページに青少年文化賞の受賞が決定した3個人1団体を、2ページに同スポーツ賞の受賞が決定した1個人1団体を、3ページに青少年文化奨励賞の受賞が決定した2個人2団体を、4ページから6ページにかけて同スポーツ奨励賞の受賞が決定した25個人10団体を掲載しております。</p> <p>また、6ページから8ページにかけて、教育委員会表彰の受賞が決定した、文化部門では3個人2団体、スポーツ部門は10個人10団体を掲載しております。</p> <p>各賞及びそれぞれの受賞者の氏名、事績等の詳細につきましては、1ページから9ページに記載しておりますのでご参照願います。</p> <p>また、年度別の受賞者数統計につきましては、10ページに参考資料として添付しておりますのでご覧いただきたいと思っております。</p> <p>なお、贈呈式につきましては、2月23日土曜日、午後1時よりえぼあホールにて執り行っております。教育委員会表彰については、長谷川教育委員長より贈呈していただいております。以上、ご報告いたします。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました平成24年度江別市青少年文化賞・スポーツ賞及び教育委員会表彰について、質問等がございましたらお受けします。</p>
相馬委員 郷委員	<p>二中のトランポリンとか、一中の体操とかは前からですか。</p>
相馬委員 郷委員	<p>それは個人で、例えばスポーツクラブに入っていて、中学生がその学校に在校しているということだと思います。</p>
長谷川委員長	<p>一中は剣道が凄いですよね。</p>
相馬委員	<p>一中は剣道部があって、今ちょっと成績を残しています。</p>
小林生涯学習課長	<p>江別市はかなり頑張っています。</p>
長谷川委員長	<p>太極拳はどういう基準で順位が付くのでしょうか。</p>
永嶋生涯学習課長	<p>演舞と言いまして、刀を持ったり槍を持ったり、手に何も持たないで、個人での演舞という動きを見せながら、採点制によって順位が決まるというものであります。空手とは違うという認識をしていただいて、江別は武術太極拳連盟が体育協会にも加入し、普及されている方がいます。全道的にはそんなに普及していませんが、江別で教わっている人が一生懸命やるということで、全道的にも上位の成績も収めて、全国あるいはアジア大会にまで出ている人がいます。</p>
長谷川委員長	<p>それでは、本報告については終了してよろしいですか。</p>
永嶋生涯学習課長	<p>(一同了承)</p>
永嶋生涯学習課長	<p>次に、報告事項(3)第7期江別市社会教育総合計画の点検・評価結果についての報告を求めます。永嶋生涯学習課主幹をお願いします。</p>
永嶋生涯学習課主幹	<p>第8期江別市社会教育総合計画及び第5期江別市スポーツ推進計画の策定に当たりましては、既に平成24年第10回定例教育委員会においてご報告をいたしました。</p>
永嶋生涯学習課主幹	<p>第8期江別市社会教育総合計画につきましては、平成26年度から、また、第5期江別市スポーツ推進計画につきましては、1年前倒して平成26年度からスタートすることとなります。</p>
永嶋生涯学習課主幹	<p>計画の策定に当たりましては、現計画の進捗状況等を検証し、その結果を次期計画に反映する必要があることから、江別市社会教育委員の会議及び江別市スポーツ推進審議会におきまして、点検・評価を実施いたしました。これらの点検・評価結果を定例教育委員会にご報告するものでございます。</p>
永嶋生涯学習課主幹	<p>報告事項(3)追加資料、第7期江別市社会教育総合計画成果指標一覧をご覧ください。この表は、第7期江別市社会教育総合計画書に掲載しております成果指標一覧でございます。第7期の計画を推進するため、基本目標を4項目、基本施策を各3項目、基本施策ご</p>

永嶋生涯学習課主幹	<p>とに最低1つ以上の成果指標を設定しております。</p> <p>成果指標には、第5次江別市総合計画・後期基本計画で基本事業に対応して設定した指標を用いるとともに、施策体系に合わせて新たな指標の設定を行っております。さらに、成果指標の根拠となる算定式、現状値は平成19年度、目標値は計画最終年度の平成25年度としております。この表の成果指標欄に記載しております20項目の指標につきまして、点検・評価を実施したものが、次の表の報告事項(3)第7期江別市社会教育総合計画成果指標一覧(点検・評価結果)でございます。この表は、ただいまご説明いたしました成果指標一覧を点検・評価用に加工した表でございます。</p> <p>評価は、計画期間である平成21年度から平成25年度までの5か年のうち、中間年度である平成23年度の間値及び計画最終年度である平成25年度の目標値との比較を基に、社会教育委員による5段階の点検・評価及び評価に対する意見をいただいております。</p> <p>表の内容をご説明いたします。成果指標欄の1番、地域子育てサービスの利用者数をご覧ください。地域子育てサービスの利用者数の中間値である平成23年度の利用者数は、1万7,569人、目標値である平成25年度の利用者数は、1万7,000人です。中間値と目標値の比較は、中間値が目標値を上回っておりますことから、右肩上がりの矢印で表示しております。成果指標の達成状況及び各事業担当者の評価につきましても、記載のとおり、Aの成果が上がっているという内容でございます。</p> <p>社会教育委員の評価は、5段階評価による評価5が9人、評価4が1人と高い評価となっており、意見につきましても記載のとおり、サービス向上により不安が解消されている等、ほぼ目標を達成しているという内容でございます。以下、成果指標20番まで、同様に評価内容を記載しております。</p> <p>2ページをご覧ください。2ページの最下段には、成果指標20項目の5段階評価比率による集計結果を記載しております。</p> <p>評価3のあまり事業を達成していないが、上昇傾向がみられるが9項目、41%と最も多く、次いで評価5の事業を達成しているが6項目、27%、評価4のある程度事業を達成しており、上昇傾向がみられるが4項目、18%、評価2のあまり事業を達成してなく、上昇傾向もみられないが3項目、14%となっております。</p> <p>なお、評価の低い成果指標項目もありますことから、それらを含め次期計画の策定に向け、江別市社会教育委員の会議等で検討する必要があると考えております。説明については以上でございます。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました第7期江別市社会教育総合計画の点検・評価結果について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>一点いいですか。1ページ目なのですが、1の家庭と地域が一体で子どもを育てる環境づくりの中で、3番目の一番下の児童センター利用者数で、ここに書いてあるとおり児童クラブの民間移行のためとか、少子化で年々減少しているという中で、25年度の目標が7万人となっております。何か特別な策があって、これだけの目標値にしているのか確認させてください。</p>
永嶋生涯学習課主幹	<p>児童センターにつきましては、教育部の所管ではなく、健康福祉部の所管になります。そちらの数字をこちらの指標ということで載せているんですけれども、当初平成19年度で6万8,000人という7万人に近い数字があったので、それで7万人という形に設定したんだと思います。その間、児童クラブの民間移行と言いますか、今まで児童会館で使っていたものを他に移したということが出てきたものですから、目標値との差が生じたということで担当者から伺っております。</p>
相馬委員	<p>個性豊かな地域文化の醸成と発信ということで、文化財とか歴史遺産の保存で目標値が高くなっていますが、各種文化事業参加者数が少ないというのは、統計的に見て言われているんでしょうか。文化事業参加者数の減少はちょっと意外だったんですけれどもどうですか。</p>
小林生涯学習課長	<p>文化ホールとか、公民館とか、いろいろな事業での利用者数を拾っているもので、事業数そのものは減っていないんですけれども、例えば何かの鑑賞会をやったときに、今まで100人いたものが50人になっているとか、参加者数が減少しているということで表記させていただいております。</p> <p>やっているイベントや催し物は全然変わっていないんですが、実態としてはそういった</p>

小林生涯学習課長	数字ということで、景気が悪くなると事業の参加者、見学者等々が減っているということです。
相馬委員	そうなってくると、事業内容に工夫が必要ではないですか。
上野委員	そういうふうに意見に書いてあります。
相馬委員	書いてありますか。すみません。
小林生涯学習課長	市が行っている事業以外に、各種団体、民間の団体が行っている自主事業を含めた数字を拾っていますので、それらも含めて検討しながら、団体とも協力して今後やっていきたいと思っていますが、現状としましてはそのような評価となっております。
相馬委員	それは重く受け止めさせていただきます。それと、江別を教育のまち、文化のまちで売り出しているとともに、れんがのまちということで結構出ますよね。過去はれんが工場がたくさんあったんですが、今現在のれんがのイメージがないという若者の意見がありました。れんがのまちと言っても、えっという市民の意見があるということを受け止めなければならないと思います。
郷委員	成果指標が、れんがのまちを誇りに思う市民割合となっていて、れんがのまちとして知っていますかと、れんがのまちを誇りに思っていますかでは、言葉尻のこともあるのかなと思いますが、この表の見方も難しいですよ。実情が分かっている社会教育委員さんたちと私たちの読んだイメージとのギャップがあるのかなと思っています。
相馬委員	細かくは書いてくれているんですけども、目標値の設定も少し安易な部分があるのかなと思います。でも、せっかくこういうふうに調べてくださっているというのは、報告事項として、参考資料というのか認識の話としては受け止められるのかなと思います。
郷委員	曖昧にはしたくないので、あえて言わせていただくんですけども、率直に言わせていただくと、約75%がれんがのまちに対する評価が高いというのは、私とはちょっと違います。
相馬委員	どんなふうに誰に聞いたのか、どんなアンケートか分からないですよ。
郷委員	いつも思うんですが、何を基準にして言っているのですかということをしちんとしないかね。何でもそうなんです。何を基準にするのか、感覚で評価されることが凄く多いものですから、この場でありがとうございました、素晴らしいですとあえて言わないんですけども、どこが基準なのか分からないんです。
郷委員	私もです。
長谷川委員長	今、れんが工場は3工場しかないんですけども、かつては道内で一番ありました。ところが、新しく入ってくる市民は分からない状況です。でも、過去はそういうまちであった。やきもの市も、イベントとしては全道の中で定着しつつあります。江別のれんがは北海道遺産にも選定されています。もう一つは、どこかのまちみたいに、れんが建てがずらっと並んでいる事業所はない。それは民間では難しい。今は耐震化の問題もあるし難しい。当時残すとなると、助成があるわけではないので無理なんです。ヒダれんが工場とか旧岡田倉庫とか、ポツポツとしかないけれども、あととはなるべくバス停などを残しながらやっているというのが実態ではないでしょうか。
上野委員	れんがを残してほしいと頼んだことがあるんです。ところが保存するためには、莫大な費用が掛かりますし、活用していくのも非常に難しいことだと思います。だけれども、かつては江別はそういうまちで、野幌駅周辺は軒並みれんが工場の煙突が建っていたまちだったということを入ってくる市民にも理解してもらうために、今の話は必要だと私は思っています。
相馬委員	れんがも安ければいいんですけどもね。鉄筋コンクリートの外側にれんがのタイルみたいなものを貼れば、そういうふうに見えるかもしれないけれどもね。
佐藤教育部長	前に江別でれんがを使った家を建てると、補助みたいなものはありませんでしたか。住宅建築に対する補助は行っていなかったと思うんですが、今現在どうなっているか承知していませんけれども、東光町や文京台方面にいくつかれんがのバス停があります。あるいは、野幌駅前バス停ではなくて、電話ボックスなんですけれども、市庁舎前も含めて設置母体は自治会であったり、他のものだったり分かれておりますけれども、こういったものへの補助を行ったという過去の経緯はあります。
	それから、どうしても老朽化してくるものですから、これを補修するための経費を自治会に何分の一かの補助をしているという事実はございます。一般住宅への補助制度はなかったと思います。以上です。

<p>長谷川委員長</p> <p>永嶋生涯学習課主幹</p>	<p>それでは、本報告については終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項(4)第4期江別市スポーツ振興計画の点検・評価結果についての報告を求めます。永嶋生涯学習課主幹お願いします。</p> <p>報告事項(4)第4期江別市スポーツ振興計画の点検・評価結果について、ご説明申し上げます。</p> <p>報告事項(4)追加資料をご覧ください。第4期江別市スポーツ振興計画(H17～H26)〈施策体系図〉をご覧ください。これは、第4期江別市スポーツ振興計画書に掲載しております施策体系図でございます。第4期の計画を推進するため、推進目標、基本方針、重点目標を4項目、推進項目を各1から2項目、推進事項を各2から3項目、推進取組事項を各2から5項目設定しております。</p> <p>また、現計画は計画期間が10か年という長期の計画のため、体系図右端の推進取組事項までの記載にとどめ、点検・評価に要する成果指標及び目標値は設定しておりません。したがって、点検・評価に当たりましては、体系図右端の推進取組事項の各項目に市が実施しているスポーツに関する事務事業及び江別市スポーツ振興財団が実施している事業を当てはめ、さらに指標となりえる参加者数などを成果指標として設定し、評価を実施いたしました。</p> <p>実施事業や成果指標を設定し、評価を実施したものが次の表の報告事項(4)第4期江別市スポーツ振興計画事業評価表(点検・評価結果)でございます。</p> <p>表の内容をご説明いたします。表の左上、事業名のうち、黒星印を付けている項目については、江別市スポーツ振興財団が実施している事業であります。</p> <p>事業内容、対象のほか新たに設定した成果指標、計画初年度である平成17年度と平成23年度の成果指標の推移、各事業担当者の評価、江別市スポーツ推進審議会委員による評価及び評価に対する意見を表の一覧に表しております。特に、成果指標の推移(H17とH23の比較)欄では、1割以内の増減を横ばい、1から2割未満の増減を微増・微減、2割以上の増減を増加・減少と設定いたしました。</p> <p>事業名の一番上、黒星印、親子健康教室つばさ欄をご覧ください。平成17年度の参加者数は560組、平成23年度の参加者数は480組です。この数字を比較して、成果指標の推移欄には微減と記載しております。単純に数字だけの比較ですと、80組減っているように見受けられますが、平成23年度は平成17年度に比べ、約3,900人の人口減となっておりますので、人口比率で再計算しますと微減ではなく、横ばいという結果になります。</p> <p>各事業担当者の評価も、中間値であるBのどちらかといえばあがっているという内容となっております。</p> <p>スポーツ推進審議会委員の評価は、5段階評価による評価4が4人、評価3が6人、評価2が1人、また意見については記載のとおりでございます。</p> <p>なお、5段階評価欄で一番人数の多い箇所(網掛け)をしており、濃い色で網掛けをしている箇所は、評価人数が同数であるという表示です。以下、成果指標67番まで、同様に評価内容を記載しております。</p> <p>3ページをご覧ください。3ページの最下段には、集計結果として、成果指標67項目の5段階評価比率を記載しております。評価3のあまり事業を達成していないが、上昇傾向がみられるが47項目、67%と最も多く、次いで評価5の事業を達成しているが11項目、16%、評価4のある程度事業を達成しており、上昇傾向がみられるが8項目、11%、評価2のあまり事業を達成していなく、上昇傾向もみられないが4項目、6%となっております。</p> <p>なお、評価の低い成果指標項目もございますので、次期計画の策定に向け、江別市スポーツ推進審議会等で検討する必要があると考えております。説明については、以上でございます。</p>
<p>長谷川委員長</p>	<p>ただいま報告のありました第4期江別市スポーツ振興計画の点検・評価結果について、質問等がございましたらお受けします。</p>
<p>相馬委員</p>	<p>確認なんですけど、一番多い評価は、3のあまり事業を達成していないが、上昇傾向がみられるというものですね。</p>
<p>郷委員</p>	<p>事業を達成していないが、上昇傾向がみられるというのは微妙なところですね。</p>

相馬委員 郷委員	ごめんなさいね。意味が少し分からなくて。 達成していないけれども、上向きなんではないかということで、こういう表はどれも言葉尻ですよ。評価しづらい内容だと思うんですよ。
上野委員 相馬委員 郷委員	評価が難しいということで、中間点を取っているんだと思います。 どうして、評価しづらいんでしょう。 スポーツに特定されているので、スポーツが好きな人もいれば、嫌いな人もいますし。事業名も難しいと言うか・・・。
佐藤教育部長	率直に反省事項になるのかと思います。成果指標そのもの自体が、先ほどの社会教育総合計画と合わせたので、このような感じになったと思います。そもそも、指標が設定されていまして、そういったものに対して、達成した・しないという形に揃えたところに率直に申し上げて無理があったのかなと思います。付け加えますと、今現在はいろいろなこういう計画には指標を設けて、プラン・ドゥー・シーといったマネジメントサイクルをまわすという言い方が中心になっています。
	委員さんからもご意見がございましたように、必ずしも何でも指標ができるかと言いますと、そうは言えないと思っております。それと、例えば、利用者数が増えたほうが良いという概念があった時に、主幹がちょっと触れましたが、人口が減少しているのも、もし実数が横ばいだと利用者の率は上がっているということになります。
	そういったこともありますので、今後このことについての議会報告もしようと思っておりますけれども、達成した・しないという表現がこのままでいいかどうか、改めて事務局内で点検をして、誤解のない形に少し工夫する必要があるかと思っています。
	ちなみに数のことで少し付け加えますと、例えば統計書上の市民体育館の利用者数は18万人ぐらいなんです。これに対して、資料の下から6段目に社会人体育団体学校開放事業というのがあります。現在、市内24校の体育館を開放しているんですが、22万人が18万人に減ったということになっているんですけれども、実態としては飽和状態でございます。必ずしも、利用者が減っているということではありません。
	きちんとした説明にはななかったかもしれませんが、数とか指標をもってのみ、事業の評価をできるものではないと思っています。いずれにしても、指標が設定されていないので、達成した・しないという表現は反省していますので、今後、公開するに当たっては工夫をしたいと思います。
郷委員	部長が今お話ししてくださった社会人体育団体学校開放事業の関係で、私も利用しているので分かる部分があるんですが、スポーツ団体のサークルが借りられる時間帯は、月曜日から金曜日までの夕方4時以降から午後9時くらいまでに設定しています。そういった利用時間や、利用者数は人数ではなく使っている団体の数で説明をしてあげたほうが良いと思います。
	例えば、何曜日は剣道少年団、月曜日は何々小学校が借りていて、時間帯は夕方6時ぐらいから8時半まで使っているとか。あと、利用した人数でいくと、次の年になると人数の変動があるわけです。その人数に変動があると、こういうふうになんか減ったということになります。でも、団体そのものは、例えば10人が8人になっても継続していかなければならないので、もう少し書き方、説明の仕方を変えると、少し理解できるのかなと思います。どの項目もそうなんですけれども、そういうような気がします。たまたま利用していたので、そういうこともあるのかなと思いました。
長谷川委員長 月田教育長	ほかはいかがですか。 確かに、人口減少社会になっていますから、先ほどの社会教育総合計画もそうなんですけれども、人数だけで評価するというのはこれからはちょっと無理があるのかなと思います。また、スポーツ振興計画の場合には、減ったほうが会員としては物凄く使えて、そのほうが充実した活動ができるということで、評価が高いかもしれませんね。バドミントンをやっているのに、たくさんの人数が来ると、なかなか自分の出番が少ないというようなこともあるので、本当に会員個々のニーズがどうなのかというところが、一番評価につながってくるのかなと思います。
長谷川委員長	ほかはいかがでしょうか。それでは、本報告については終了してよろしいですか。 (一同了承) 次に、報告事項(5)平成25年度財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画についての報告を求めます。小林生涯学習課長お願いします。

小林生涯学習課長	<p>報告事項（５）平成２５年度財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画につきましてご説明申し上げます。</p> <p>平成２５年度の事業計画につきましては、財団の理事会並びに評議員会の議決を経て市に提出されたところでございます。</p> <p>財団の第２２期事業計画は、１ページから４ページに記載されております。</p> <p>初めに、資料１ページの総括でございます。財団は、市民皆スポーツをより一層推進するため、各種スポーツ教室及びスポーツ大会等を開催するとともに、市民体育館をはじめとする屋内体育施設は、指定管理により引き続き管理運営を実施するものでございます。</p> <p>また、江別市都市公園の体育施設につきましても、３ページ５（１）のイに記載のとおり、指定管理を受けて管理を行うものでございます。</p> <p>これまで公益法人制度改革に伴う諸準備を進めてまいりましたが、本年１月に北海道公益認定等審議会から、北海道知事に一般財団法人認可の基準に適合する旨の答申があり、３月中旬には北海道の認可を受け、平成２５年４月１日に法務局への登記をもって、一般財団法人として新たなスタートを切ることとなります。</p> <p>名称は財団法人の部分が一般財団法人へと変わりますが、江別市スポーツ振興財団の部分は変わりません。</p> <p>事業運営に当たっては、これまでどおり利用者の利便に立った弾力性のある運営とサービスの提供を図りながら、施設の利用を高めるとともに利用者が満足感を得られるように努め、指定管理者として安定した経営に努めていくこととしています。</p> <p>次に、４ページをお開き願います。自主事業の計画でございます。今年度実施したトレーニング室の早期開放を引き続き実施するとともに、財団設立２０周年記念事業で好評でありましたちびっ子元気祭りを引き続き計画する予定でございます。</p> <p>次に、５ページをお開き願います。第２平成２５年度収支予定表、１．予定収支予算書についてご説明を申し上げます。</p> <p>まず、収入の部では、１の基本財産運用収入７，０００円は、基本財産３，０００万円の定期預金の利息でございます。</p> <p>次に、２の事業収入の補助事業収入４２８万２，０００円につきましては、各種スポーツ大会、健康体力づくり事業、スポーツ指導者養成講習会の開催にかかる参加料等でございます。また、受託事業収入１，２９２万１，０００円につきましては、屋外体育施設等の受託にかかる収入でございます。</p> <p>次の指定管理事業収入２億２，７５２万５，０００円につきましては、屋内体育施設指定管理料、大麻集会所指定管理料、都市公園指定管理料及びスポーツ教室受講料のほか、屋内体育施設利用料金、大麻集会所利用料金、都市公園利用料金でございます。</p> <p>次の、自主事業収入７万円は、自主事業の協賛金等収入でございます。</p> <p>３の補助金収入３，９９０万円は、スポーツ大会開催事業、健康体力づくり指導相談事業、スポーツ指導者養成事業の開催に要する江別市からの補助金でございます。</p> <p>４の雑収入３２６万９，０００円は、預金の受取利息及び自動販売機設置手数料等でございます。</p> <p>この結果、当期収入合計額は、２億８，７９７万４，０００円となるものでございます。</p> <p>次に、支出の部でございますが、６ページをご覧くださいと思います。</p> <p>１の補助事業費４，４３０万９，０００円のうち、スポーツ大会開催に要する事業費が１，０９８万６，０００円、健康体力づくり指導相談に要する事業費が４０９万３，０００円、スポーツ指導者養成に要する事業費が３０万１，０００円、これらの事業に要する人件費などの管理費が２，８９２万９，０００円でございます。</p> <p>２の受託事業費１，２９２万１，０００円は、屋外体育施設管理運営受託事業費４７５万９，０００円と大麻出張所管理運営受託事業費６２１万円、選挙事務開票会場設営管理等受託事業費６，０００円、受託事業管理費１９４万６，０００円でございます。</p> <p>３の指定管理運営費２億２，７５２万５，０００円のうち、屋内体育施設の管理運営費が１億１，７６１万３，０００円、大麻集会所管理運営費が４３２万３，０００円、都市公園管理運営費４５０万円、これらの指定管理事業に要する人件費などの運営管理費が１億１０８万９，０００円でございます。</p> <p>４の自主事業費は、事業にかかる経費７０万円でございます。</p> <p>５の長期借入金返済支出２４６万円は、労働災害事故の賠償金として借入れした銀行へ</p>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

小林生涯学習課長	<p>の返済金でございます。</p> <p>6の予備費に5万9,000円を計上いたしました結果、当期支出合計額は2億8,797万4,000円となるものでございます。</p> <p>7ページの2. 予定正味財産増減計算書及び8ページの3. 予定貸借対照表につきましては、それぞれ記載のとおりでございますのでご参照いただきたいと思います。以上でございます。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました平成25年度財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>借入金はあと2年でだいたい返済が終わりますよね。そうすると、財団の収益が出てくるんですか。</p>
小林生涯学習課長	<p>返済後の自販機収入について、今後どうしていくかということにつきましては、今後の協議ですけれども、新たな事業等々を展開するのか、いろいろなことが考えられますので、それらにつきましては、この借入金の返済が終わるまでには整理していきたいと思っています。</p>
相馬委員	<p>サッカーゴールか何かが風か何かで倒れて、事故に遭われて、自販機収入を使っていませんでしたか。</p>
小林生涯学習課長	<p>飛鳥山公園に多目的グラウンドがありまして、ラグビーゴールポストの撤去作業中にクロスバーが頭の上に落ちてしまったという事故です。ヘルメットをしていなかったので、頭がい骨陥没骨折の傷害を負ったというものでございました。</p>
相馬委員	<p>自販機収入というものはかなりあるんですか。</p>
小林生涯学習課長	<p>毎年246万円返済できているのは、自販機の収入であります。各体育施設に置いている自動販売機の収入です。</p>
相馬委員	<p>自販機の収入というものは、もう10年くらい経ちますよね。</p>
佐藤教育部長	<p>自動販売機の収入につきましては、この予算書の中にも掲載していると思いますが、年によって違いますけれども300万円はあります。それに対しての借入金の返済は年に246万円ですので十分足りています。自販機収入が多いので、その範囲内で繰り上げて償還した年もあるのです。その繰り上げた結果として、今この246万円があと2年でゼロになります。</p> <p>また、付け加えて申し上げますと、これはあくまでも市の公共施設ですから、財団が自販機収入を出すということが、当たり前であるというふうに解釈されては困ると私は考えています。30年以上前から、こういった収入を体育協会などで運営費のために使ってきたという経緯があります。これは見方を変えると、現金によらない補助行為のような、そういったものに相当しますから、過去一般質問等においてもいくつかの指摘がなされているものと私は認識しています。</p> <p>したがって、先ほど課長からも答弁がありましたように、この財団法人を我々が支えていかなければならないという認識は強く持っておりますけれども、そのことと自販機収入がどうあるべきかということについては、この借入金の返済が終わることを契機に互いの協議をして、一定の新たな考え方を入れていく必要があるものと私は考えています。以上です。</p>
長谷川委員長	<p>それでは、本報告については終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>続いて、2の審議事項に入ります。</p>
木村総務課長	<p>平成25年議案第7号平成23年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書についての説明を求めます。木村総務課長お願いします。</p> <p>平成23年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書についてご説明いたします。</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律、いわゆる地教行法でございますけれども、この第27条の規定に基づき、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検と評価を行うことが義務付けられておりますことから、その結果を報告書として作成し議会に提出するとともに、公表しようとするものでございます。</p> <p>点検及び評価の対象となりますのは、平成23年度におけます教育委員会の活動状況のほか、教育委員会において実施いたしました施策や事務事業などを対象としており、点検及び評価の手法と方針につきましては、教育委員会会議の開催及び審議の状況や教育委員</p>

木村総務課長	<p>会の活動状況を明らかにするとともに、教育に関する施策を個別評価し、今後に向け改善を図ろうとするものでございます。</p> <p>なお、本年度の地教行法第27条第2項に規定いたします教育に関し学識経験を有する者の知見の活用につきましては、前2年、これは21年度及び22年度でございますが、本市企画政策部が作成しました行政評価外部評価報告書にありまず教育委員会関係分の評価をそのまま抜粋しておりました。本年度はこの評価の対象となる施策から教育委員会所管の事務事業が該当しなかったことから、教育委員会が独自で外部評価を行うこととし、市内に在住しています元小学校長及び現社会教育委員の2名の方にご意見を伺ったところでございます。</p> <p>評価対象となる教育委員会の事務事業を、第5次江別市総合計画後期基本計画に定めております政策05豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実、施策01子どもの可能性を伸ばす教育の充実にあります5課32の事務事業といたしました。</p> <p>これは、昨年度教育委員会が所管しました事務事業総数が110事業を超えており、一度にすべての事務事業の説明と評価を行うことが難しいことから、全体を3か年で一巡するように計画し、今年はその初年度といたしまして32の事務事業の概要を所管課長等から説明し、委員の皆さんよりご意見を伺ったところでございます。</p> <p>それでは、報告書につきましてご説明いたします。報告書の1ページをお開きください。まず、第1章点検と評価についてですが、本報告書作成に当たっての基本的事項についての説明でございます。</p> <p>次に、第2章教育委員会の活動状況に関する点検及び評価であります。9項目にわたり記載しております。</p> <p>まず、2ページには教育委員会委員の氏名等や会議の開催状況が記載されており、3ページから9ページに具体的に案件名等を記述するとともに、10ページでは審議等の状況について記述しております。11ページは条例・規則等の制定と計画等の策定状況です。13ページは教育委員の活動状況、14ページは教育委員会にある各種審議会等の審議事項等でございます。15ページからは教育費予算について記述しております。</p> <p>ご案内のとおり、本市の政策は第5次総合計画に基づき7つの政策と、その下に位置付けられる31の施策から構成されており、教育委員会所管は先ほどもお話ししましたとおりでございます。</p> <p>この政策の下に5つの施策があり、その施策ごとに主な事業の取り組み内容につきまして、16ページから18ページに記述してございます。</p> <p>19ページと20ページは、行政改革の取り組みについての記述でございます。</p> <p>21ページから28ページは、青少年文化賞・スポーツ賞や文化・スポーツの奨励賞、さらに教育委員会表彰の受賞された方々や団体を記載しております。</p> <p>29ページは、学校適正配置基本計画の主な取り組みについての記述でございます。</p> <p>30ページ以降は、第3章教育に関する施策等の点検及び評価に関する記載であります。32ページから98ページは事務事業評価表を、99ページからは今回外部評価委員の皆さんからいただきましたご意見を掲載しております。</p> <p>なお、今後の予定でありますけれども、江別市議会の議長、副議長をはじめ、総務文教常任委員へ机上配付するとともに、情報公開コーナー等で閲覧可能とし、さらに教育委員会ホームページへ掲載するなど市民への周知を図る予定でございます。以上で説明を終わりますが、ご審議、ご決定のほどよろしくお願いいたします。</p>
長谷川委員長 相馬委員	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>凄い分かりやすいんですね。4月の定例委員会ではこういう話をしたのかとか、非常に分かりやすく、自分もすごく参考になるし、またこういうことをしなくてはいけないということで見えています。</p>
長谷川委員長	<p>あと、最初は外部評価をする人が2人というのはちょっと少ないと思ったんですけども、このぐらいの人数でいいなと思いました。2人の意見も助言も素直に入っていけます。この安藤さんと甲谷さんはよく見ていて、意見と助言に対して、本当に敬意を表したいです。こういう評価をする人というのは、自分の感情、感覚を基準に評価してはいけないと思うので、凄い大変だと思うんですね。だけれども、今回の学識経験者の意見や助言は、感覚的な要素がなく、先ほどと違って納得できる評価だと思っています。</p> <p>ほかはいかがですか。</p>

長谷川委員長	一つ聞いていいですか。99ページの意見の中では、図書館司書が全校に派遣されているようには見えませんとなっていますが、59ページの子どものための読書環境整備事業（学校図書館支援事業）を見て言っているんですね。23年度は2校しか司書派遣していないととらえたんですかね。
大村情報図書館長	学校図書館支援事業なんですけれども、このほかに実は補助金事業と交付金事業がありまして、そちらの事業のほうで司書を派遣している関係で、3つに分かれて学校数が分散されております。この事業だけの学校数になっております。
木村総務課長	そのことを踏まえまして、教育内容の充実のところ、事務事業評価表における表記方法を工夫・改善してみたいかという意見をいただいたということでございます。
長谷川委員長 月田教育長	ほかはいかがですか。 教育内容の充実の最初の学校図書館事業ですけれども、ただ蔵書率を上げるだけではなくというようなことで、大変素晴らしい意見をいただいておりますので、これから各学校に反映していきたいと思っております。ニーズにマッチしたものを置かなければならないと思っております。また、キャリア教育につきましても、自分の将来・進路というだけではなくて、コミュニケーション能力の育成ということから、非常に大事だというような指摘も受けていますので、これらについてもさらにきちんとやっていきたいと思っております。
長谷川委員長	高校生ならまだしも中学生ですから、自分の進路というよりむしろそういう所に行つて、職場体験をしていろいろな話をして、コミュニケーションを図るといふことのほうが大事ですね。
郷委員	コンパクトで、凄くいい所をついていると思います。
長谷川委員長	実態のことがよく分かっているし、今回の2人の意見と助言はよく教育委員会のことをとらえているなど感じました。ほかはいかがですか。
郷委員	これを読んで納得しました。良いものだなと思います。
長谷川委員長	それでは、平成25年議案第7号平成23年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承) それでは、そのように承認いたします。 続いて、3のその他各課所管事項に入ります。 (1) 江別市少年育成委員の補欠委員の委嘱についての説明を求めます。園部参事お願いします。
園部学校教育支援室参事	教育委員会では、江別市少年指導センター規則に基づき、少年の非行防止等にあたる少年育成委員を2年間の任期で委嘱しているところではありますが、野幌地区で現在3名の欠員が生じているところでもあります。 つきましては、平成25年4月1日付けで補欠委員の委嘱を行うため、委員の選考事務を進めているところであり、3月定例教育委員会において議案として提出いたしますのでよろしく願いいたします。以上であります。
長谷川委員長	本件に対する質問等がございましたらお受けします。 (なし)
木村総務課長	それでは、次に次回定例教育委員会予定案件及び日程について説明願います。 まず初めに、2月21日木曜日の豪雪に対します小中学校等の対応についてお知らせをいたします。 既に新聞等におきまして報道されておりますけれども、2月20日水曜日深夜より急な吹雪となりました。市総務部危機対策担当では、21日午前1時過ぎより情報を収集し、各部署に、各部に配信するとともに、それぞれの部ではこれを参考に対応したところでございます。 市教委といたしましては、建設部などからの除雪状況の連絡を受け、午前6時45分に全市一斉臨時休校を決定し、各校へ通知いたしました。この一斉休校は、平成16年9月8日の台風により休校の措置をして以来でございまして、豪雪による休校は初めてではないかと思われます。 また、この措置について私立幼稚園連合会へもお知らせし、市内13園中10園が休園となりました。この豪雪による学校での被害の報告は受けておりません。さらに、聚楽学園等のスケジュールもその日にありましたけれども、これも延期いたしました。豪雪につ

木村総務課長	<p>いては以上でございます。</p> <p>続きます、次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、平成25年第1回江別市議会定例会の一般質問について、審議事項といたしまして、今ほど報告いたしました江別市少年育成委員の補欠委員の委嘱についてなどを予定としております。</p> <p>また、次回定例教育委員会の日程でございますけれども、3月27日水曜日、午後2時からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p>
長谷川委員長	<p>今ありましたように、次回の定例教育委員会を3月27日水曜日、午後2時からということによろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>では、次回の定例教育委員会は3月27日水曜日、午後2時からを予定いたします。</p> <p>以上をもちまして、第2回定例教育委員会を終了いたします。</p> <p>(閉会)</p>

終了 午後3時34分

署名人（委員長） 長谷川 清明

署 名 人 郷 早見